

テーマ:『 もったいないから始める「環境教育・環境整備」 』

神奈川県平塚市立 大野小学校

Tel. 0463-55-1065 担当者: 中島 利枝



- **実践内容:** ○落ち葉の堆肥化のため、腐葉土置き場の製作と活用 ○雨水タンクの活用 ○「緑のカーテン（クールビル）」の継続 ○樹名板の作成
- **実践成果:** 校内で伐採した枝のチップ化に先立ち、今年度は落ち葉を集め腐葉土作りをするために堆肥置き場をフラワーボランティアの方々の協力を得て、製作しました。子どもたちは校庭の回りの落ち葉を集めて植物栽培の腐葉土作りに頑張っていました。今までコンテナに捨て、焼却ゴミとなっていた落ち葉が肥料になることを学びました。前年度に助成金で購入させていただいた雨水タンクをさらに活用しやすくするためにホースを購入し、学校・学級やフラワーボランティアの花壇の散水に利用することを心がけ、水資源の大切さを学ぶことができました。蔓性植物（アサガオ・ゴーヤ）の栽培面積を広げ「緑のカーテン（クールビル）」を継続しました。また、昨年度実施できなかった校内の樹木に樹名板を取り付け、校内の樹木や自然への関心を高めることができました。
- **実践ポイント:** 今までは落ち葉を焼却ゴミとして何気なくコンテナに捨てていましたが、腐葉土になることを学びを捨ててしまうのは「もったいない」と思う心が芽生えたようです。掃除当番だけでなく全校児童にも広げたいと思います。雨水タンクの水は、植物への散水だけでなく校庭に引くラインにも代用・活用させたいとおもいます。「クールビル」は前年度より取り組むクラスを増やすことができました。これからも『もったいないから始める「環境教育・環境整備」』に全校で取り組んでいきたいと思っています。